

嘉麻市社協だより

# えがお

No.156

発行日/2019.2.1

山頂の空気は  
気持ちいいです

安全に楽しく登山をしよう  
～長谷山を愛する会 登山美化活動～



みんなが、けがを  
しないように



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

FAX 0948-83-8005



<https://www.facebook.com/kama.swc>

<http://kama.syakyo.com>

✉ [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

「障がい者の虐待と権利擁護」について、障がい者やその家族への支援を行っている青柳壮悟さんから、寄稿いただきました。

平成最後のクリスマスの翌日、平成29年4月から平成30年3月に全国で発生した「障がい者虐待の発生状況」が国から公表されました。「養護者(家族等)による障がい者虐待」は全国で557件(福岡県38件)、「障がい福祉施設従事者等(施設職員等)による障がい者虐待」は全国で464件(福岡県14件)発生したそうです。今回は、公表データを基に「障がい者虐待について」一緒に考えていきたいと思います。

虐待の種類は①身体的虐待、②放棄・放置、③心理的虐待、④性的虐待、⑤経済的虐待がありますが、養護者における障がい者虐待は、身体的虐待が全体の61%と最も多く、家族による虐待を受けて死亡した事例も1件ありました。このようなケースを目にすると、虐待が発生する前に何らかの防ぐ手立てがあったのではないかと悔やまれます。

親が、障がいのある自分の子どもを家の中のおりに閉じ込め、十数年監禁していた事件がありました。行政の福祉担当者が

面談をしたこともあったそうですが、その時は気付かなかったということでした。親は、子どもにどう接したらよいか分からなかったのかもしれませんが、早い段階で福祉とつながることができていれば、親子とも今とは違う人生を歩むことができたでしょう。

このような虐待を防止する目的で、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法)」が平成24年に施行されました。この法律の大事な点は、「養護者に対する支援等」です。前述のケースの場合、障がいのある子どもや親の要望を確認し、何らかの福祉サービスにつなげることで虐待が発生しない状態にする。これが、「養護者に対する支援等」です。市が中心となって支援を行うようになっていますが、私たち市民にも出来ることがあります。それは、虐待かもしれないと思ったら、虐待をしている人から話を聴いたり、市や福祉関係者へ相談することです。障がいがあってもなくても人として幸せに暮らす権利があります。虐待のない社会を実現するためには、虐待に関して、他人事ではなく、自分の事として考えることが求められます。

今回は、障がい者の権利擁護について一緒に考えていきたいと思います。



あおやぎ 青柳 壮悟さん

#### 【職歴】

平成9年1月 社会福祉法人 和光会 笠松あんじや園 入職  
平成26年1月～ 社会福祉法人 和光会 笠松あんじや園 施設長

平成26年6月～平成28年6月 公益社団法人 福岡県社会福祉士会 副会長  
平成28年6月～平成30年6月 公益社団法人 福岡県社会福祉士会 会長

#### 【資格】

認定社会福祉士、介護福祉士、福祉施設士

#### 【福岡県社会福祉士会での活動】

- ・ばあとなあ福岡 (成年後見人) 登録
- ・福岡高齢者・障害者虐待対応チーム 所属
- ・福岡障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 講師

## 災害に備えよう！鴨生第二自主防災会

11月1日、稲築地区に初の自主防災組織「鴨生第二自主防災会」が発足しました。

行政区長の飯田千鶴美さんは、昨年7月の西日本豪雨の際、ひとり暮らしの高齢者や気になる方に、訪問や電話での安否確認、避難の声をかけを行いました。この経験を通して、行政区内で災害が発生した場合の窓口の必要性や日頃から、一人ひとりが防災意識を持つことの大切さを感じました。



そこで、民生委員や福祉推進員、いきいきサロンを支援してくれるメンバーに声をかけ、自主防災組織の立ち上げに向けた話し合いを行いました。警察や自衛隊で働いた方々にも役員とし

て加わってもらいました。

今後は、まず災害マップをもとに実際に現場に向いて、危険な場所を確認したり、災害時を想定して、薪や飯盒を使った炊き出しの訓練を行うそうです。

最後に飯田さんは、「災害は、他人事ではありません。自主防災組織が嘉麻市全体に広がることを願っています」と話されました。



## 心も明るく元気に

### 上臼井東イキイキサロン

上臼井東イキイキサロンは、代表者の山根末歳さんの「みんなで楽しく集まれる場所を作りたい」との思いから、平成29年に発足しました。

12月23日、お正月用の生け花教室が開かれ、18名が参加しました。松の木を中心に菊の花や千両などを、スポンジに挿していきます。直感で生ける方、悩みながら慎重に生ける方など様々です。



講師の、「生け花には作者の個性が表れます。正解というものはないので、花を生ける過程を楽しんでほしいです」という言葉に参加

者の1人は、「最近嫌なことがあり、落ち込んでいましたが、ここにきて、みんなと話しながら花に触れていると、明るい気持ちになりました」と笑顔で話されました。

部屋の雰囲気だけでなく、作者の心も明るくしている生け花教室でした。



## 自分で買いたい物

### 木城行政区で移動販売スタート

山田校区の協議体「あつとふるやまだ」では、移動販売の実現に向けて話し合い、昨年12月20日に市内のコンビニエンスストアの協力を得て、木城集会所でお試し移動販売を開催しました。

食品や野菜、調味料や日用品など、数多くの品物が並ぶ中、サロンの利用者だけでなく、地域の方も利用されました。普段はバスやタクシーで買



い物に行く方や家族に頼み買つて来てもらう方など様々ですが、「自分で品物を見ながら買いたい物できて楽しかった」と喜ばれました。みなさんの声を聞き、今後は月2回開催することになり、「次はあれを持って来てほしい」と、注文する方もいらつしやいました。

行政区長の樋口龍生ひぐちりゅうせいさんは、「買い物を終えたみなさんの表情はいきいきとし、生活用品を揃えるだけでなく、楽しみや生きがいにつながっていることを感じました」と話されました。

協議体では、買い物だけでなく、生活する上で困っていることや心配なことを、地域の課題として捉え、解決に向けた仕組みづくりを目指しています。みなさんの声をお聞かせください。

## 若水くみ用竹水筒作り

### 嘉穂校区

12月29日、若水くみの竹水筒作りが宮吉行政区の民家であると聞き、おじゃましました。

「若水くみ」とは、世帯主が元旦の早朝に井戸や近くの川からくんだ水を飲んで家族の健康や五穀豊穰を祈るといふ旧嘉穂町に伝わる伝統行事です。

この伝統行事を残そうと、I LOVE遠賀川 in 嘉穂実行委員会のみなさんが源流を守ることにきれいな水が下流に流れ着くことを願って、



元旦の朝に遠賀川の源流広場で行い、今年で24回目になります。

冷たい風

が吹く中、嘉穂中学校近くの竹林で切った「真竹」で約百本の水筒を作り、子どもたちが提げひもの取り付けやシール貼りを行いました。

作業終了後は、事務局の松岡朝生あさむねさんから手打ちそばやうどんが振舞われ、冷たい身体を温めました。

会長の田尻勝たじりかつさんは「古くからの伝統行事を守ろうと有志が集まってくれました。この行事を次の世代に引き継いでいきたい」と話されました。この竹水筒は元旦の朝、遠賀川の源流広場で参加者に無料配布したそうです。



## 公開講演会のご案内

昨年、兵庫県で精神疾患を持つ長男を、両親が長年自宅で監禁するという事件が発覚しました。監禁は、子の人権を踏みにじる行為であり、許されることではありませんが、この事件の背景には、近所に迷惑をかけてはいけないという親の思いや周囲の目や声を気にして、追い詰められる家族の苦悩、障がいや病気に対する様々な偏見があったのではないかと思います。

地域には、複合的な課題を抱えながら、生活する方々がいっぱいいます。地域住民のつながりや助け合いによる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが掲げられる中、困難を抱える家族が孤立することなく、不安や悩みを相談できる体制を地域でどう作っていくのかを、みなさんと一緒に考えたいと思います。

記

- 日 時** 平成31年3月8日(金)  
13時30分～15時(受付13時)
- 会 場** 桂川町住民センター(嘉穂郡桂川町土居424番地8)
- テーマ** 誰もが安心して暮らせる地域を目指して  
～この事件が問いかけているものは何なのか～
- 講 師** 飯塚市・嘉麻市・桂川町  
障がい者基幹相談支援センター 藤嶋勇治さん

## 今月のえがお

最近笑顔になった出来事を教えてください



うへだ うめの

上田 梅乃 さん

10月で92歳になります。

旦那さんが作るおいしい手料理を、えがおで仲良く食べています。

## 今月のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記「嘉麻市社協のブログ」を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasakyosakura.ne.jp/wp/>

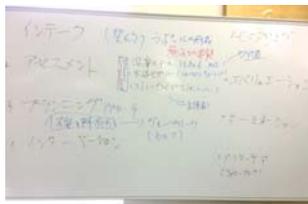
### ミーティングで

2019年1月12日(土)

本会では、毎朝ミーティングを行っています。コミュニティソーシャルワーカーが受けた相談を報告し、職員間で情報を共有すると共に、課題設定や支援の方向性について、スーパーバイズを受けます。

昨日は、家族のひきこもりに悩む方や匿名の方からの相談を支援する中で、ソーシャルワークの展開過程のどの段階にいるのか、どのような手法を用いて支援していくのかを整理しました。

ソーシャルワーカー自身が支援をする中で、うまく進んでいない原因に気づくことができ、課題の整理やアプローチ方法の見直しを論理的に行うことができました。



## 社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)、ポストカードセット(4枚組)をそれぞれ1名の方にプレゼントします。

### 問題

嘉穂校区には、家族の健康や五穀豊穡を祈る「若水くみ」という伝統行事があります。今年で何回目になるでしょうか?

(1)14回目 (2)24回目 (3)34回目

### ●応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、平成31年2月28日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

### ●送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会  
E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

### ●前号のクイズの答え

#### (1) 移動販売

山田の協議体「あつとふるやまだ」では、買い物方法を増やすため、移動販売の実施に向けて活動しています。

### ●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・免許返納後の買い物に困るため、移動販売実施に向けての取り組みは、とても心強くと感じました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



# かまボランティア・市民活動センター情報



## みんなの思いをつなぐ義援金 福岡県立稲築志耕館高等学校

12月18日(火)、福岡県立稲築志耕館高等学校の生徒3名と先生が、西日本豪雨への義援金を届けてくれました。

テレビや新聞で、県内だけでなく、広島や岡山など広範囲に及ぶ被害を知った生徒会のみなさんは、1日も早い復興を願い、自分たちにできる事を考えました。その結果、文化祭での模擬店の売り上げを寄付することに決めたそうです。



写真左から日賀野蓮さんと佐々木哉太さん

す。PTAの協力もあり、総額75,231円集まりました。生徒会副会長日賀野蓮さんと文化委員長佐々木哉太さんは、「たくさんの人の思いで集まった義援金です。ぜひ、役立ててください」「これからも人の役に立つ活動をしていきたいです」と、話されました。義援金は、福岡県共同募金会を通じて、被災地に届けられます。ご協力いただき、ありがとうございました。

## ボランティア募集情報

### 作業のお手伝い

社会福祉法人恵寿会 指定障がい者サービス事業所 就労継続支援B型山田学園では、作業のお手伝いをしていただける方を募集しています。

**日時** 月～金曜日(9時～16時)  
※活動可能な日、時間帯でかまいません。

**場所** 就労継続支援B型山田学園  
(住所:上山田1094-116)

**内容** タオルの折り畳み、仕分け、シャボン玉セットの袋入れ、アルミ缶・ペットボトルの選別

**備考** 上履きを準備してください。



### 麻雀や将棋の相手

NPO法人良創夢 嘉麻良創夢デイサービスセンターでは、利用者と一緒に麻雀や将棋をしていただける方を募集しています。

**日時** 随時(月～土曜日)  
※詳しい時間帯については、ご相談ください。

**場所** 嘉麻良創夢デイサービスセンター  
(住所:嘉麻市飯田511-1)

**内容** 利用者との麻雀や将棋の相手

**備考** 動きやすい服装でご参加ください。



お問い合わせ / かまボランティア・市民活動センター 0948-42-0751



## へん子の手紙

発達障害の  
私が見つけた幸せ

著者 伊藤 のりよさん



著者の伊藤さんは、幼い頃から「へんな子」と言われ続けるうちに、どんどん無口になっていきました。自分でも「みんなと同じようにできない」、「どこかぼーつとしたところがある」と感じていましたが、どうしたらいいのかわからなかったそうです。看護学校で寮の部屋替えがあり、環境が変わったことで、食欲もなく

なり、眠れない日々が続き、実家に戻りました。この時、うつ病と診断され、2年間のひきこもり生活を経験します。

このままではいけないと思いアルバイトを始め、ご主人と知り合って結婚。2人の子どもを出産しましたが、子育てをする中で、子どもたちの発達障害が分かり、療育について学ぶうちに、36歳で自分の発達障害を知りました。今までのつらいできごとと説明がつきほつとすると同時に、自分とのかかわりかたや付き合いかたが分らなくなり、自分へ宛てた手紙を書き始めます。

「なんで、誰も私のことを分かってくれないの?」と思いのまま書くことで、怒りや悲しみ、あきらめといった今まで気づかなかった自分の感情を知ります。徐々に「私は、大丈夫。私は私でいいのだ。」と自分を受け入れることができるようになります。

「明日を信じて生きる」ことを目標に、戸惑いながらも自分を受け入れていく過程が描かれた1冊です。

(うちだ)

## 炭 鉱 の 記 憶

No.143

上臼井行政区にお住まいの福丸祥三さんから、昭嘉炭鉱で働いたときの話伺いました。

農家で生まれ育った福丸さんは、馬の扱いに慣れていたことから、小学校を卒業してすぐに馬車でポンプや坑木などを運ぶ仕事に就きました。

資材置き場から5ヶ所ある坑口までの道のりは舗装されておらず、資材が落ちることもあり苦労したそうです。経験を重ねるうちに慣れ、鉱業所内にあった風呂を沸かすための石炭を運ぶ仕事も、任せられるようになりました。

風呂は、仕事を終えた人だけでなく、近所の方も利用され、いこいの

場となっていました。浴室から聞こえてくる大人たちの会話は、福丸さんにとって新しい話ばかりで、楽しみの一つだったそうです。

「炭鉱の仕事では、努力を続けることの大切さや生きていくために必要なことを学ぶことができました」と、話されました。



## 3月の総合相談

### 法律相談

と き：3月14日(木) 13:00~16:00

ところ：稲築住民センター

※法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早目にお申し込みください。



### 心配ごと相談

と き：3月13日(水) 13:00~15:00

と き：3月27日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

## 山田ふれあいハウスからのお知らせ

子育てリユースセンターでは、使わなくなった子ども服や制服など、みなさんから寄せられた子育て用品を取り扱っています。新入学に向け、制服の問い合わせが増えています。中学校・高校の制服などがありましたら、お寄せいただければ幸いです。

衣類を持ち込まれる際は、洗濯をお願いします。



連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス  
嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

## 成年後見 Q&A

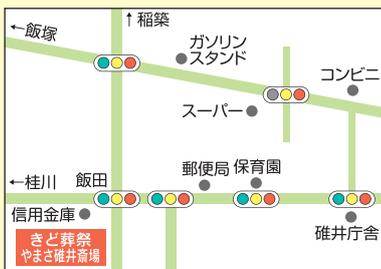
Q

成年被後見人が受け取る年金や生活費など、収入と支出の記録はどのようにすればよいのですか？

A

収入や支出があれば、その都度出納帳に記録してください。裁判所から写しの提出を求められた場合にいつでも対応できるように、用途や項目を明らかにして記録しなければなりません。適宜の様式で差し支えありませんが、最低限、現金と預貯金に分けておく必要があります。また、領収証等の証拠書類は、すべて出納帳に添付してください。

近年、高齢化・核家族化が進む中、家族葬をはじめ多種多様な形のお葬式がおこなわれております。ご家族の想いを大切に、故人様との大切なひとときを過ぎして頂きますようにひとつひとつのご葬儀を社員一同誠実に真心と感謝を込めてお手伝いさせていただきます。



嘉麻市飯田214-1  
☎ (0948) 62-4499  
フリーダイヤル 0120-4040-31

指定葬祭場紹介  
きど葬祭やまさ碓井斎場

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭やまさ碓井斎場を含め、市内に7ヶ所あります。

いすや会館	☎57-4444	善光会館 稲築会場	☎83-5000
セレモニーホールおおつか	☎52-1212	おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
かは葬祭 あじさい会館	☎62-5566	飛鳥会館 南斎場	☎42-4241

みなさまの善意、心より厚く、  
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

12月1日～12月28日受付分

◆香典返し

〔西岩崎〕

親族 今村 タマキ 様  
故 今村 豊 様

〔天神〕

親族 城丸 貴久枝 様  
故 城丸 正治 様

〔木城〕

親族 豊永 千代子 様  
故 豊永 ヨシ子 様

〔大橋〕

親族 立藤 健一 様  
故 立藤 テル子 様

〔昭和〕

親族 柴田 英子 様  
故 柴田 國男 様

〔貞月〕

親族 伊藤 仁志 様  
故 伊藤 スミ子 様

〔下牛隈〕

親族 大音 司郎 様  
故 大音 康子 様

〔千手〕

親族 青柳 慶子 様  
故 山本 俊博 様

〔小野谷〕

親族 江藤 ヒデミ 様  
故 江藤 景美 様

〔西郷〕

親族 藤原 永二 様  
故 藤原 アサコ 様

◆一般寄附

〔市外〕

嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

〔子育てリユース〕

漆生本村 松熊 梨枝 様  
飯田 佐藤 麻美 様  
尾浦第二 下川 明世 様

〔アルミ缶〕

漆生中央 田中茶舗 様  
漆生南部 岩田 勇治 様  
漆生南部 市原登志彦 様  
漆生南部 西岡 聖 様  
東岩崎 松岡 光 様  
口春 高木久美子 様  
鴨生第一 花村 誠市 様  
漆生東 匿名 名 様  
六四田 松田 敏雄 様  
神幸 匿名 名 様  
下宮 ライブハウス 様  
おおつか様

〔リングプル〕

中央 大田 輝子 様  
上町 広川 康子 様  
上牛隈 井坂 智子 様  
嘉穂才田 匿名 名 様  
匿名 名 様  
(有)小西モーターズ 様

下白井東 匿名 名 様

六四田 松田 敏雄 様

下宮 万月堂 様

木城 樋口えり子 様

上牛隈 嘉穂洋瓦(有) 様

大力 伏貫 幸代 様

鴨生第一福祉部 様

長円寺仏教婦人会 様

(有)小西モーターズ 様

ふるさと探険隊 様

カレーの日 様

〔古切手〕

鴨生第一 花村 誠市 様

鴨生北町 匿名 名 様

下宮 万月堂 様

上牛隈 嘉穂洋瓦(有) 様

イキイキ3B体操 様

石ヶ崎シニアクラブ 様

教育ナビゲーション(株) 様

ふるさと探険隊 様



あなたの会費が、  
社協の地域活動を  
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)  
(順不同で掲載しています。)

12月1日～12月28日受付分

〔緑ヶ丘〕金川智裕、大和大三、滝石哲男、富永昭信、岡田國男、高島國臣、坂川隆、緑ヶ丘14組(二口)、氷室恵子  
〔木城〕山田昌郎、藤井逸志、藤嶋泰仁、中野勝哉、小島律子、梅林英夫  
〔上白井上〕犬丸寿美子  
〔三日町〕有江清美  
〔県外〕櫻木和子、新開泰博

義援金をお寄せいただき、  
ありがとうございます

平成30年7月豪雨災害により被害を受けた方々を支援するため、義援金をお寄せいただいています。

誠にありがとうございます。  
12月1日～12月28日受付分

福岡県立 福岡県立 福岡県立

稲築志耕館高等学校 様

福岡県立 稲築志耕館高等学校 P.T.A 様

●●●案内●●●  
在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、  
いろんな情報交換をうつつじて、楽しくリフレッシュしています。

●平成31年2月14日(木)  
稲築住民センターにて

●(石崎)1143番地3  
平成31年3月7日(木)

●ふれあいハウスにて

●(上山田)502番地6  
※時間はいずれも13時～15時までです。

嘉麻市認知症家族の会

認知症の方を介護しているご家族が集まり、お互いの体験や情報交換をしています。

●平成31年2月23日(土)

●平成31年3月23日(土)

●ふれあいハウスにて

●(上山田)502番地6  
※時間は13時30分～15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話したり、情報交換をしています。

●平成31年2月21日(木)

●平成31年3月28日(木)

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。特にプログラムはありません。

毎週木曜日 13時30分～15時30分

●平成31年2月7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)

●平成31年3月7日(木)、14日(木)、28日(木)

※ひきこもり家族の会、フリースペースの開催場所は寄ってこハウスで、時間は13時30分～15時30分です。日時等が変更になることもありますので、事前にご連絡ください。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-421-0751  
E-mail:tiliki@kama-syakyo.com

ふるさとへの  
手紙  
No.156



大阪府在住  
にし しょうこ  
西 昭子さん  
(旧姓 灰本)  
旧碓井町出身

思い出の地ふる里

私は、昭和27年に桂川町で生まれ、小学2年生の頃から碓井町で育ちました。父親は炭鉱で働いていたため、石炭を採掘する際に出るボタ山や集合住宅で暮らした日々は、父との忘れられない場所であり、大切な思い出です。

光代橋近くの遠賀川で泳ぎ、溺れて兄に助けられたことやきれいな光を放つ蛍が飛び交うまで川遊びに夢中になったこと、川



でとったシジミを持ち帰り料理してもらったこと、盆踊りでは浴衣を着せてもらい、下駄の鼻緒が足の指に食い込んで痛くなりながらも、新盆のお宅を一軒、また一軒と廻り、夜遅くまで踊ったこと、どれもふるさとでの楽しい思い出です。そのふる里には、弟夫婦や甥、姪が住んでおり、いつでも子どもたちと一緒に帰ることが出来ます。感謝の気持ちでいっぱいです。



編集後記



(おがわ)

前号に続いて山田校区でスタートした移動販売を紹介しています。自分の目で見て、商品を手に取り選ぶみなさんの表情は明るく、買い物を楽しんでいる様子が伝わってきました。



(ふじい)

長谷山を愛する会のみなさんは、安全に登山できるように、山道の生い茂った木々の伐採や倒木の撤去などを定期的に行っています。



(いとう)

嘉麻市支会だよりでは、赤い羽根共同募金の取り組み内容や実績を報告しています。募金活動では、市内外のたくさんの方々に支えていただきました。



(うちだ)

今月の1冊には、36歳で自身の発達障害を知った著者が、自分自身と向き合っていく過程が書かれています。「幸せだと感じるのは、私らしくある時」と書かれた1節が印象に残りました。



(やました)

鴨生第二自主防災会で今後予定している炊き出し訓練では、日頃からいきいきサロンで40人分を超える料理を作っているメンバーが中心となって行います。



(やひろ)

ブログをつづじて、本会の活動や地域の行事などを紹介しています。ホームページやフェイスブックから見る事ができます。随時更新しているので、ぜひご覧ください。

空き家管理住まいるサービス

市内には、一目で空き家と分かる家屋が年々増えています。そのままにしておくと、草木が生い茂って害虫が発生することもあり、所有者や周辺住民の中には不安を感じている方もいらっしゃいます。本会では、市内の空き家を適切に管理していくことで、みなさんに安心をお届けする「空き家管理住まいるサービス」を実施しています。このサービスは、本会との契約により月に一度、敷地内外のチェックや通水、換気などを行うほか、大雨や台風などの有事先後の見回りなどを行うもので、現在9軒のお宅を管理しています。

嘉麻市内にある空き家の管理でお悩みの方は、ぜひご利用ください。ご不明な点がありましたらお気軽に下記までお問い合わせください。

記



**対象家屋** 嘉麻市内にあり、本人、配偶者、子または父母が所有者となっている家屋。

※公営住宅や賃貸、商用物件は除きます。

お問い合わせ先  
嘉麻市社会福祉協議会 電話0948-42-0751